

な か ま 10月

【電話番号】089-958-2000 【FAX】089-958-2014

【ホームページ】<http://www.e-inochi.jp/> 【メール】ehime-1111@e-inochi.jp

10月スケジュール

日付	時間	行事	内容	場所
5日(木)	11:00～	継続研修	宇都宮G / 多目的室	パフィオうわじま
7日(土)	9:30～	継続研修	川本G / 4F調理室	松山市総合福祉センター
10日(月)	8:00～	∞∞ 24時間フリーダイヤル ∞∞		相談室
11日(火)	イオン幸せの 黄色いレシートデー		イオン松山店 (7:00～23:00) マックスバリュ今治阿方店 (9:00～22:00)	
13日(金)	18:45～	継続研修	武井G / 3階作業室	松山市総合福祉センター
14日(土)	13:30～	第42期 電話相談員 養成講座	⑫電話相談演習Ⅱ<危機介入> / 多目的室1 【担当】川本先生	松山市 ハーモニープラザ
	10:00～	継続研修	わかばG / 玄関横	済美会館
	10:00～	継続研修	船戸G / 第2研修室	新居浜市 総合福祉センター
16日(月)	18:30～	継続研修	信原G / 玄関横	済美会館
18日(水)	18:00～	運営会議 / 玄関横		済美会館
19日(木)	9:45～	継続研修	大久保G / 研修室2	済美会館
20日(金)	13:00～	継続研修	横田G / 研修室2	済美会館
22日(日)	13:30～	第42期 電話相談員 養成講座	⑬発達障害について / 多目的室1 【担当】梶原先生	松山市 ハーモニープラザ
25日(水)	18:45～	継続研修	近藤G / 5F小会議室	松山市総合福祉センター

2023年8月23日～9月21日までの寄附金および後援会費

寄附金としての入金 : 10件 74,730円

後援会費としての入金 : 8件 45,000円

～多くの方々ご支援いただきました。心より感謝申し上げます。～

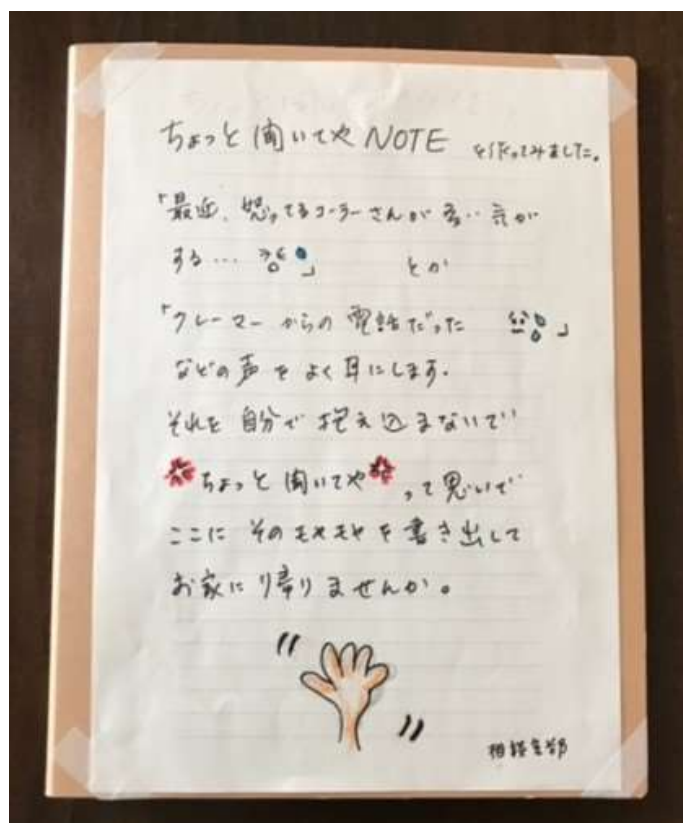


委員会・部会活動報告

相談室部

- セックステレフォンや相談員への攻撃的な電話などの対応について、提案をもとに「ちょっと聞いてや！NOTE」を作成
- 9/20運営会議にて提議する
- FD軽食の提供について
- サポーターの協力のもと相談員に意見を聞いている

<ちょっと聞いてや！NOTE> 皆さまへのご案内>



交流イベント部

【次回】10月10日(木)11:00～

9月の集計

古本 900円
バザー 1,350円

いつもご協力
ありがとうございます。
ございます。



9月10日公開講演会受付参加6名
9月11日イエローレシートキャンペーン参加2名
9月23日FC今治参加6名（詳細は下欄）

7/23募金箱 6,301円
9/23募金箱 5,964円



<FC今治(2回目)のイベントに参加して>

- ・前回よりもブースに来てくれた方が多かった
- ・相談員に興味を持ってくださった方がお話を聞きに来てくれた
- ・やはり今治での手伝いは、今治近辺の人にしてもらえるとありがたい。
- ・今回もテントやイスはFC今治が用意してくれていた。

統計部

8月受信データ

	一般	ナビD	FD	毎日FD	計
松山	429	82	63	48	622
東予	95	16			111
南予	36	2			38
総数	560	100	63	48	771

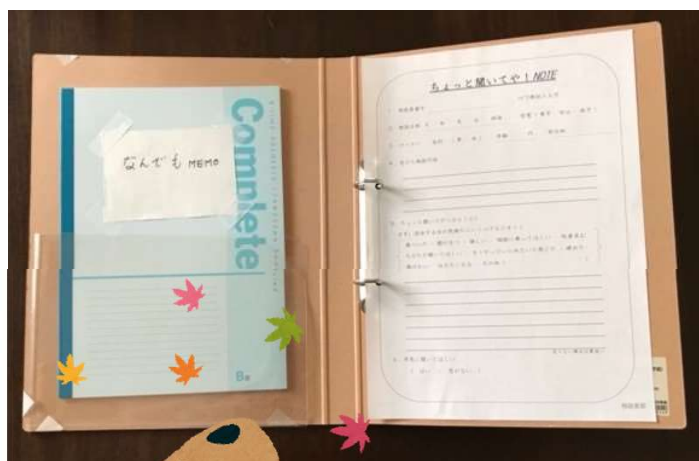
7,8月と受信件数減少

広報誌編集部

【次回】10月10日(火)13:00～

次回部会では外報誌冬号に向けて話し合う。毎年冬号は公開講演会の記事を1ページ使って載せていたが、今回は録音音源がないため(増田氏所属事務所より指示あり) ページ数を含めて検討することとなった

<ちょっと聞いてや！NOTE> 実物>



《審議事項》

- (1) 増田明美さんの講演会 ふりかえり
集客がもう少しあってもよかったと思うので、更なる宣伝をしたらよかった
- (2) HPのメッセージについての確認
 - ① 困難な電話 対応メッセージについて
研修企画委員会の修正案を再度検討
(運営会議後の流れ) もう一度研修企画委員会へ
理事会で審議し、可決したらHPに掲載となる
 - ② 扉のページについて
研修企画委員会で下記表現についての質問などがあった
(現) ちょっと心が疲れた時も
ひとりぼっちで悲しい時も
死にたい時も
誰かに聞いてほしい時
下線部について検討 文章作成の経緯を含め
研修企画委員会で再度説明し検討してもらうこと
となった

(3) 統計システムについて

研修委員会、相談員にも意見を聞いてみた
「いのちの電話」の統計を有効に使えるよう引き続き
検討が望まれる

(4) その他

- ① 「カスタマーハラスメントの対応について」の提案を
検討
相談室長より提案「ちょっときいてや！NOTE」を検
討(左ページ参照) 試験的にやってみる
- ② 10日FD時の軽食について
相談室部からサポーターに協力してもらい相談員
にも意見を聞いた 今のところ「予算がないならば、
なくてよい」が多数 検討の結果は保留 この審議
をきっかけに、改めて相談員のモチベーションアッ
プや環境について関係者に伝えたりお互いに話し
合ったりする必要があるという結論になった
- ③ 対応困難な電話について
「福島さん対応」プロジェクトの報告 (別紙参照)
以上

研修企画委員会 9月14日(木) 16名出席

【次回】11月9日(木)18:00～オンライン会議

研修委員: 宇都宮・大久保・近藤・武井・信原・船戸・横田
サポーター: 木村(す)・桑田・永井・原・福岡・宮本
事務局: 川崎・中矢・渡部(操)

《事務局からの報告》

(1) 連盟関連会議

- ・厚労省追加事業 ハートプロジェクト (仮)
7/8 (対面) 7/14 8/9 8/28 9/13
正式名称は いのちの電話プロジェクト
テーマは「いのちの電話の傾聴とは」(裏面参照)
- ・統計システム委員会 8/21 オンライン
- ・FD電話機交換説明会 8/25 オンライン
- ・増田明美氏公開講演会 9/10 参加 約150名

(2) 愛媛県・松山市その他市町

- ・ソーシャルワーカーデー2023in愛媛 7/23(日)
テーマ: 誰も自殺に追い込まれることのない社会の
実現を目指して (松山市コミセン 於)
- ・松山市保健所 自殺予防週間街頭キャンペーン
(ティッシュペーパー配り) 8/31
- ・愛媛県保健福祉部生きがい推進局 男女参画・
子育て支援課 児童・婦人施設係 から打診
祝休日電話相談事業 対応日数: 116～117日

(3) その他

- ・相談室のパソコンによる当番表(含ネット相談)表示
- ・インターネット相談研修会 8/5
- ・「『愛媛いのちの電話』のいまとこれからを考える
会議の開催」(愛基金) 現申込者数 16名
- ・他センターよりの移籍者 1名
- ・FC今治 9/23 出店予定

《審議事項》

(1) 通話録音に関するHP上の 公表文言について

運営会議案を検討
HPの扉のページの表現について意見交換
今後の予定→この研修企画委員会案をもう一度
運営会議で検討してもらう
その結果を再度研修企画委員会へ → 理事会へ

(2) その他

受信カードの分類表について日ごろ感じていること等
について、各グループで相談員の意見を集める
以上

～こころみカフェ～

*10月10日(木)

11時～17時

済美会館研修室

ぜひお立ち寄りください!

～古本市も同時開催～



日本いのちの電話連盟からのお知らせ

R5年度のFD 電話機交換事業
今後のスケジュールについて

- ① 10月11日までは今まで通り
- ② 10月12日10時、新電話に切り替え
- ③ 10月12日13時～15時、FDのテスト受信
- ④ 11月10日、新しい機器での10日FDの受信

『自分という人生の長距離ランナー』

講師 スポーツジャーナリスト

増田明美氏



日時 2023年9月10日（日）
会場 松山市総合福祉センター
入場者数 約140名

感想

元気・勇気・笑顔

を頂きました。
感謝です。ありがとうございました。

1人では生きられない。

助け合いの大事さを改めて
感じました。

どなたにも、
大変好評でした。
「**知・好・楽**」の
言葉に多くの方が
感銘を受けた
ようでした。

子供たちにすてきな未来を
残すために、今、自分に出来る
ことを見つめ直したい。

パラ選手の座右の銘

**「失ったものを数えず、
あるものを最大限に生かせ」**

「今あるものが最大限」

私も今を大事に生きたい。
人の力が支えになるんだと、
自分の人生も考えることができた。

増田明美さんより、メールを頂きました！

先日は松山で、とても楽しい時間を過ごさせて頂き、どうもありがとうございました。
相談員の方々の優しいお人柄に触れて感動。
また話し始めると会場の皆さんがよく笑い、頷いてくださり、とても話し易い空気で、
私は調子に乗ってしまいました。聴いてくださった人も優しい方々ばかりでしたね。
これから1人で悩む人が減り、相談員が増えていきますように願っています。
またお会い出来る日を楽しみにしています。
相談員の皆さんに宜しくお伝えくださいね。

アンケート報告

（講演会の日の募金は、3730円集まりました。
ありがとうございました。）

【アンケート回収数】 102／140

【年齢層】 60代、70代最多

【情報入手先】 チラシ27 情報誌6 インターネット5 友人42 その他19

【活動への関心】 ある55 機会があれば相談員4 資金面で協力20 ない17

- 「福島さん」への対応策について以下のような文書が届きました。
大変残念な結果ですがお知らせいたします。（事務局 川崎）

令和5年9月20日

いのちの電話センター事務局長 各位

福島いのちの電話事務局長 三瓶弘次

「福島の60代男性からの攻撃的・性的電話への対応」についての
プロジェクトチーム取りまとめ結果について

ここ5・6年ほど前から全国各センターに攻撃的・性的な電話を掛け続けている「福島の60代男性」は、秋田センターの調べによると2月だけで受信件数の17%を独占するなど、各センターの相談員を疲弊させ、中には相談員を辞めてしまうなど、多大な影響を与えています。これは日本の「いのちの電話」のあり方をも左右しかねない問題となっていることから、7月8日の全国事務局長会議において、「個々のセンターの問題ではなく、連盟として統一的な対応を検討すべき」との意見が大勢となり、この問題についての「プロジェクトチーム」を発足させ、2ヶ月以内に取りまとめることとなりました。

事務局長会議においては、議論のテーマとして「①着信拒否をしない、②足並みをそろえる、③オンリーワン」の3項目が提案され、プロジェクトチームではこれを踏まえつつ具体的対応策についての検討会議を2回行い、見解を取りまとめたのでご報告いたします。

議論のテーマとされた課題については、

- (1) まずは全ての電話を受けることが「いのちの電話のポリシー」である。
- (2) それぞれが電話相談の原点に立ち返ることで、必然的に足並みがそろう。
- (3) 個人を特定するのは困難であり、前提は「話の内容次第」となる。

このような認識をメンバーが共有することとなり、以下のとおり対応することが相当であるという結論に達し、これを理事会に提案することとなりましたので、ご了解願います。

本件のような極めて対応困難な電話については、相談員それぞれの理解を得ることが何よりも重要であることから、第一には、これまでの「その対応についての議論」の経緯を議事録により相談員に開示し、今後の電話対応に役立てていただくことを相当とする。

電話相談にあっては、掛け手・受け手の対等性が担保されて、初めて電話相談が成立するものであることから、相談員に対する強いパワハラ、モラハラ、セクハラ等においては、相談員の側から受話器を置くことの事情を掛け手に対し丁寧に説明したうえで、電話を切ることもあり得る。

- 連盟の事務局長さんからののお知らせです。フリーダイヤル事業の新しい局面についてどうぞご理解ください。(事務局 川崎)

令和5年9月25 日

いのちの電話事務局長 各位

日本いのちの電話連盟
事務局長 佐合 信子

いのちの電話FD 事業について

厚生労働省の補助事業として2001 年より実施している「自殺予防いのちの電話」(以下、FD)は、全国の地域のいのちの電話センター共同で、統一の電話番号でフリーダイヤルにより電話相談を行うものです。全国の孤独の中で自殺を始めとする精神的危機にあり、援助を求めている人たちのために実施します。各センター改めて参加して頂くことをお願いいたします。

連盟としては、センターの通常電話、FD、ナビダイヤル、どれもいのちの電話として大切にしていきたい活動と考えています。今回のFD 電話機交換事業(クラウドPBX 事業)を実施することで、電話システムの整備および受電拠点(サテライト)を増やし、一人でも多くの孤独・孤立の中にある人々の心に寄り添うことを目指す所存です。

今回の事業実施により、今までと異なった受け方になるかもしれません。慣れ親しんだ方法が変わるのは不安・不満があると思いますが、FD 事業の新しいステージに移行するというように理解していただければ幸いです。今回はFD 回線のみの変更になりますが、今後サテライト方式、通常電話、事務局電話システムへの応用も視野に入れ、検討していく予定です。

現在、FD は1 つの拠点(センターや分室)に対して1 回線つながる設定になっていますが、今回の事業により、複数回線つなげることも可能になります。また、容易に環境を整えられるので、分室やサテライトで受信することも可能です。

※1 つの拠点で2台設置した場合は、2台とも鳴ることになりますので、運用についてご検討頂く必要があります。

今後経費についても、消耗品費や事務補助費など各センターの運営費の補助になるよう厚生労働省にも働きかけていく所存です。

今後も、いのちの電話全体の事業として、FD 事業を継続していけるようご理解・ご協力をお願いいたします。